



恵佑会だより

2013.11 Vol.13 ——— 発行・社会医療法人 恵佑会札幌病院

〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号

TEL 011-863-2101 FAX 011-864-1032 <http://www.keiyukaisapporo.or.jp/>

2013
冬号
Vol.13

病院見学研修に参加しました!

部門紹介～訪問看護ステーション恵佑会の展望～

「北海道知事賞・優良給食施設」を受賞しました

恵佑会第2病院「平成24年照明普及賞」を受賞しました!

看護部より～高校生職業体験学習を実施しました

第2回恵佑会札幌病院ロビーコンサートを開催しました

北京市第六医院の皆様が来院されました

病院見学研修に参加しました!

社会医療法人 恵佑会札幌病院
副院長・看護部長 渡辺 由美

2013年7月29日・30日東京都のがん研有明病院と千葉県柏市の国立がん研究センター東病院に細川理事長はじめ、高橋第2病院院長、医師2名、看護師6名で伺いました。

がん研有明病院は、1908年に「癌研究会」を創設、その後がん医療・がん研究において先駆的役割を果たし、2005年に湾岸エリアに病床数700床で新設された病院で、東京都がん診療拠点病院としてカンサーボードの設置、緩和ケア病床を有しています。また国立がん研究センター東病院は、病床数425床、開院当初よりグループ診療体制をとり、治療方針を決定し、また入院、外来、在宅の切れ目のない緩和医療を提供し、闘病生活のどの段階でもよりよい生活の支援を目指しており、外科治療では食道がんの手術件数が多く、手術を受けてもそれまでの生活を大きく変えることのないような、生活の質を十分に考えた取り組みを行なっています。このような先進的ながん医療・がん看護に取り組まれている2病院を見学・研修させて頂きました。

研修目的としては他施設におけるがん医療・がん看護の取り組みや看護部の体制を知ること、周術期患者管理チームにおける看護師の役割などを知ることにより自施設での活動に活かすための学びを得ることでした。

がん研有明病院では、看護部長から看護部の組織、教育体制についてお話を伺いました。臓器別診療・救急医療が病院の特殊性で看護体制は7:1、2交代制を導入しています。また看護部の体制においては業務分担が明確化されており、それぞれが責任を持って取り組んでいることが印象的でした。教育体制も中途採用者に対する研修やがん看護に関する研修等様々な研修が整備されており、看護師の育成に繋がるシステムとなっていました。このような教育体制は看護師のモチベーションの

向上、知識・技術の習得、また患者さんによりよい看護を提供するために重要であるため、当院の教育体制においても更に検討していかなければならないと再認識しました。

施設においては、1階は吹き抜けの空間に外光が降り注ぐホスピタルストリートにレストランやギャラリーがあるホテルのロビーのような建物でした。ATC(外来治療センター)や最上階に位置する12階の緩和ケア病棟を見学させて頂き、様々な設備や管理体制等を学ぶことができました。



がん研有明病院

国立がん研究センター東病院では「恵佑会札幌病院-国立がん研究センター東病院交流会」というプログラムを準備して頂き、丸1日講義や見学をさせて頂きました。多職種周術期管理チーム(ESST)の概要として食道がん患者に対するチーム医療について講義を聴き、周術期管理を学ぶ機会となりました。医師・看護師が術前オリエンテーションとして他職種の専門チームが外来から関わり、周術期患者の環境の整備をするという取り組み、周術期管理として栄養管理・早期離床等新たな学びが得られたとともに今後の課題を明確にする機会となりました。また「通院治療センターにおけるセルフケア支援」「緩和ケア病棟におけるチーム医療」について認定看護師からの講義や精神腫瘍科医師、リエゾンナースによる「がん医療の現場でいかにせる精神症状の対応」という内容でせん妄に関する講義を聴くことができ、大変学びの大きい研修となりました。

当院では食道がんの手術を年間約150件行っており、術前-周術期-術後における管理は重要であり、専門的知識・技術は必須です。また患者さんの生活背景を知り、術後の生活支援をするという看護師の役割を果たしていくためにそれぞれの課題に向けて努力していこうと思います。両病院ではとても丁寧で親切な対応をして頂いたことに感謝するとともに、見学後の親睦会ではそれぞれの病院での活動等をお話することができ、楽しい時間を過ごしました。

今回の病院見学研修に向けて、参加者それぞれが目的を持って参加したことで新しい発見や大きな学びの機会となりました。研修で得たことを今後の活動に活かしていきたいと思います。



国立がん研究センター東病院 緩和ケア病棟

部門紹介 ～訪問看護ステーション恵佑会の展望～

社会医療法人 恵佑会 訪問看護ステーション恵佑会
所長 山崎 美恵(緩和ケア認定看護師)

訪問看護ステーション恵佑会は今年の4月に再開し、はや6ヶ月が経ちました。お陰様でスタッフも増え、現在は4名で訪問看護にあたっています。

利用者数は4月初旬は6名でしたが9月現在では26名と増え、訪問件数も月150件以上となりました。訪問看護は医療保険と介護保険のどちらかの制度をご利用頂きますが、今までの実績からみると医療保険が6割、介護保険が4割という特徴があり医療ニーズの高さが伺えます。また、同法人内の地域がん診療連携拠点病院である恵佑会札幌病院や恵佑会第2病院と連携を図り、がん専門病院での質の高い医療を受け、在宅療養を望まれる患者さんをご家族を支える役割も担っています。例えば、同病院を退院するにあたり、医師、医療ソーシャルワーカー、病棟看護師、訪問看護師、ケアマネージャー、福祉用具事業所や訪問介護等、必要な医療、介護、福祉サービスの担当者による多職種で退院前カンファレンスを実施します。在宅で訪問看護の必要のある患者さんの医療的サポートならび生活支援をどの様にマネジメントするか、チームで検討し患者さんやご家族が安心して在宅療養が開始でき、継続できる様サポートしています。外来通院や入院を繰り返しながら治療を受ける利用者さんのサポート体制の充実を図り、外来や病棟との連携も密にし、そのパイプ役として安心、安全な専門的ケアの提供をしています。例えば、リンパ浮腫ケアや化学療法中の継続看護も病院から在宅、在宅から病院と常に連携し、質の高い知識と技術が提供できる様に日々努力しています。また、地域の在宅療養支援診療所や総合病院とも連携を図り、利用者さんやご家族が安心して医療を受けながら地域で暮らせる様にサポートし、最期まで在宅で過ごしたいという利用者さんやご家族のご希望があれば、最期まで苦痛なく本人らしい生活が出来るような支援もさせて頂いています。当ステーションはサービス付き高齢者向け住宅「モーニング」内に事務所があることから、入居されている利用者さんへの訪問看護も行っており、入居者の生活の中に訪問看護が密接している為、安心して日々の生活を送れると評価を頂いております。

これからの日本は高齢化率上昇に伴い、2025年には3人に1人が高齢者になると言われており、超高齢化社会に向かっています。そういった社会



訪問看護の様子(モーニングにて)



退院前カンファレンス(恵佑会第2病院にて)

背景の中で私たち訪問看護は何を求められ、何をすべきかを考えながら訪問看護を行っていかねばいけません。昨年の診療報酬改定の内容からも在宅医療に期待がかかっていることが伺えます。訪問看護師の力がどれだけ社会に届き、豊かな地域社会に向かって貢献できるか、私たち訪問看護師は専門的なスキルの向上にむけて自己研鑽していかねばいけないと考えています。

当訪問看護ステーションは皆さまに支えられながら日々感謝し、常に高い向上心を持ち続け訪問看護にあたっています。今後ともご指導ご鞭撻頂きながら、頑張っていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「北海道知事賞・優良給食施設」を受賞しました

2013年10月、恵佑会札幌病院が「北海道知事賞・優良給食施設」を受賞しました。NST(栄養サポートチーム)の活動や、術後食、料理交流会の実施など、がん患者さんの栄養管理に対する取り組みと、給食施設としての食品衛生監視成績が評価されました。今後も、治療効果の向上に寄与できるような栄養管理を目指したいと考えています。



恵佑会第2病院「平成24年照明普及賞」を受賞しました!

恵佑会第2病院は、一般社団法人照明学会より、「平成24年照明普及賞」を受賞いたしました。

施設面で高い評価をいただきましたが、その評価に負けないよう、医療面でも引き続き職員一同努力してまいります。



看護部より～ 高校生職業体験学習を実施しました

札幌市の市立高等学校では、2003年より共通の取り組みとして、自分自身を発見し、将来の生き方や進路について考える目的の『進路探究学習』を実施しています。その一つである「職業体験学習」の依頼で、8月、9月の2回、高校生の受け入れを実施しました。

目標は、①働く意義、大切さを学ぶ、②仕事を理解し看護師になりたいという気持ちを高め努力につなげる、そして③いろいろな体験をして自分たちの将来を確かなものにしたい、ということでした。

職業体験学習では、白衣に着替え、オリエンテーション、自己紹介、写真撮影を行ったあと、病院内を見学し、部署毎に分かれて病棟体験を行いました。

病棟体験では、看護師と一緒に、実際の業務の流れをみながら患者のバイタルサインの測定・聴診、清拭、手・足浴・洗髪・散歩の付き添い、車椅子移送などを体験しました。

体験後の感想として、「対象が人の命で緊迫したイメージを持っていたが、看護師がわかりやすく説明してくれた」「看護師も患者もやさしく暖かさを感じ、病院の雰囲気も良かった」「立ちっぱなしで体力がなければできないと感じたが、やりがいのある仕事だと思った」「見学をして、さらに看護師になりたいという思いが強くなった」など、様々な感想がありました。

白衣を着て医療器具に触れる際の、一つ一つの新鮮な表情などを見て、私たち看護師も、看護師を目指していたころの純粋な気持ちを思い出しました。

まだ進路を決めかねている人もいましたが、身内や小児期の体験から看護師になりたいという思いで体験した学生がほとんどでした。病院で看護師の仕事を見て少しでも将来の参考にしてもらえたらいいのではないかと考えています。



足浴の様子



担当看護師と共に

第2回恵佑会札幌病院ロビーコンサートを開催しました

9月2日、イタリア・シチリア島より来日中だったテノール歌手のジュゼッペ・コスタンツォさん、ピアノ奏者のレオナルド・カタラノットさんをお招きしてロビーコンサートを開催いたしました。

当日は150名を超える患者さん、ご家族の方々にご来場頂きました。「オーソレミオ」「花のワルツ(チャイコフスキー)」など、イタリア民謡やオペラ楽曲を中心に10曲が披露され、アンコールも湧き起こる盛り上がりとなりました。

ジュゼッペさん、レオナルドさんは「医療で患者さんに感動を与えたいという理事長の意思に共感し、我々も音楽で人に感動を与える立場としてコンサートに協力しました」と話しており、言葉通り、素晴らしい演奏に多くの方が感激していました。

お二人は昨年3月の第1回ロビーコンサート、Kitaraで行われた恵佑会第2病院開院記念コンサートにもご出演頂きましたが、2度目の来院ということもあって、とても和やかな雰囲気でのコンサートとなりました。



北京市第六医院の皆様が来院されました

9月6日、北京市第六医院より楊永強 院長と同病院スタッフ5名が当院を訪問しました。楊院長は15年前、日本に1年間留学し、その間当院で研修していました。今回の訪問では札幌病院や第2病院を見学して頂き、交流会では日本と中国の医療の違いなどについて話し合いました。北京市第六医院は中国を代表する大病院で、スタッフの皆さんのお話は当院との違いも多く、大変勉強になる内容でした。「北京市第六医院-恵佑会札幌病院 交流契約書」も交わされ、今後も引き続きスタッフ交流を深めることが決まりました。そして楊院長より、当院の繁栄と両院の友情が続くことを祈念して、牡丹花模様付きの“北京雕漆”(北京の漆彫り)製の皿を寄贈して頂きました。



北京雕漆:主な原料は漆で、製品の生地数十層から数百層の漆を厚さ15-25mmで塗付け、乾かしてから刀で彫刻します。完成までに数十工程がかかるため非常に高い技術が必要とされます。

法人概要

名称	社会医療法人恵佑会(シャカイイリョウホウジン ケイユウカイ)
理事長	細川 正夫
開設	恵佑会札幌病院:1981年3月1日 医療法人恵佑会:1984年4月1日 社会医療法人恵佑会:2010年9月1日
事業所一覧	恵佑会札幌病院、恵佑会第2病院、恵佑会歯科口腔外科クリニック 恵佑会本通クリニック、訪問看護ステーション恵佑会、居宅介護支援事業所恵佑会
関連施設	サービス付き高齢者向け住宅モーニング

●恵佑会札幌病院 概要

代表者	院長 平川和志
所在地	〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号
電話	(011)863-2101(代表)
FAX	(011)864-1032
ホームページ	http://www.keiyukaisapporo.or.jp/
診療科目	外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、 気管食道外科、消化器内科、腫瘍内科、 緩和ケア内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、 アレルギー科(耳鼻)、泌尿器科、 放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、 歯科、歯科口腔外科
入院病床数	229床 (緩和ケア病棟24床、特定集中治療室4床) (DPC対象病院、一般病棟入院基本料7:1)
併設 各種指定	恵佑会放射線画像センター 地域がん診療連携拠点病院 日本医療機能評価機構認定病院 (審査体制区分3、ver.6.0)
診療時間	平日/午前8:30~12:00(受付8:00~11:30) 午後13:00~17:00(受付12:00~17:00) 土曜日(歯科のみ)/午前8:30~12:00 (受付8:30~11:30 初診の場合は11:00まで) ※診療、受付時間は診療科で異なる場合がございます。※日・祝日は休診です。

●恵佑会第2病院 概要

代表者	院長 高橋宏明
所在地	〒003-0027 札幌市白石区本通13丁目北7番1号
電話	(011)863-2111(代表)
FAX	(011)863-2261
ホームページ	http://www.keiyukai2.jp/
診療科目	内科、消化器内科、放射線診断科
入院病床数	135床(個室39床) (一般病棟入院基本料10:1)
診療時間	平日/午前8:30~12:00(受付8:00~11:30) 午後13:00~17:00(受付12:00~17:00) ※土・日・祝日は休診です。

交通機関

地下鉄	東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分 (3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)
JR北海道バス	JR北海道バスターミナル札幌駅、新札幌駅、北広島方面より [1][1-3][13][15][22][24][26][33]にご乗車ください。
JR北海道バス(高速バス)	えりも・様似・浦河・静内方面より「高速えりも号」にご乗車ください。
中央バス	地下鉄東西線白石駅バスターミナルより[34]にご乗車ください。
※バスはすべて「白石神社前」停で下車(快速は停車しません)	

